

# 答 申

湯梨浜町長 宮脇 正道 様

令和2年6月2日に諮問のあった第4次湯梨浜町総合計画の策定について、別添計画書のとおり答申いたします。

本審議会では、総務企画、福祉環境、産業建設及び教育文化の4部会を設け、さまざまな立場の委員が専門的な見地や住民の目線から、10年後の湯梨浜町のあるべき姿・方向について、慎重審議を重ねてきました。

本計画の目指す「住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち」の実現に向けて、社会経済情勢の急激な変化の中、住民の安全で安心な暮らしを守り、将来にわたり豊かで持続可能なまちとなるよう、下記のように計画を着実に推進されるよう要望いたします。

## 記

1. 本計画に掲げられた目標や施策方針を踏まえ、実効性のある計画となるよう取り組まれない。
2. 本計画の趣旨や内容を町民、事業者、団体など多様な主体と共有し、協働しながら、計画を推進されたい。
3. 本計画の実施にあたり、行財政の計画的、効率的及び弾力的な運営に努めるとともに、透明性の高い事業の推進を図られたい。
4. 人口減少や社会環境の大きな変化の中で、幸福度の高い持続可能なまちであるため、新しい発想と柔軟な対応をもって、課題解決に向けて、積極的に取り組まれない。
5. PDCAサイクル（計画、実行、評価、改善）を活用し、効果検証できる体制の確立を図るとともに、積極的な情報公開に努められたい。

令和3年2月25日

第4次湯梨浜町総合計画審議会  
会 長 山田 修平